



『戦争と平和6』おもな登場人物



リーザ(リザヴェータ、アンドレイの妻)
ニコライ(ニコレンカ、息子)

■ボルコンスキー家 老伯爵(ニコライ・アンドレイ・ヴィチ)

マリヤ(アンドレイの妹)
*マドモワゼル・ブリエンヌ(マリヤの侍女)
ベルグ(ヴェーラの夫、ロシア第一軍団参謀次長)

■ロストフ家

伯爵(イリヤ・ロストフ)
伯爵夫人(ナタリヤ)
ヴェーラ(長女)
ニコライ(長男)
ナタリヤ(ナターシャ、次女)
ビョートル(ペーチャ、次男)
*ソフィヤ(ソーニャ、伯爵の姪)

■ベズーホフ家

老伯爵(キリール・ヴラジミロヴィチ) — ビエール(伯爵の庶子)
*エカテリーナ(カティーン、ベズーホフ伯爵の姪)
*オリガ(ベズーホフ伯爵の姪)
イツポリト(長男)
アナトール(次男)
エレーヌ
*ドーロホフ……: ビエールの昔の決闘相手。
小規模のバルチザン部隊を率いる。

■ドルベツコイ家

公爵夫人(テンナ・ミイロヴナ) — ボリス(近衛隊将校)
ジュリー(ボリスの妻)
アンナ・ハーヴロヴナ・シェーレル……: 宮廷女官。
ナポレオン(ボナパルト)……: フランスの皇帝。
アレクサンドル二世……: ロシアの皇帝。
クトゥーゾフ(ミハイル・イラリオーノヴィチ)……: ロシアの将軍、ロシア軍総司令官。
デニーソフ……: アウステルリッツの戦い以来のニコライの戦友。バルチザン部隊を率いる。
フラトン・カラターエフ……: ビエールとともに捕虜となったロシアの農民兵。

